

令和元年9月教育委員会定例会 会議録

令和元年（2019）9月24日（火）午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1 会議に出席した委員

教 育 長	榎 野 信 幸
教育委員(教育長職務代理)	小 豆 澤 貴 洋
教 育 委 員	水 陽 子
教 育 委 員	錦 田 剛 志
教 育 委 員	金 築 千 晴

2 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	植 田 義 久
教育部次長（教育政策課長）	建 部 敏 紀
市民文化部次長（文化財課長）	木 村 亨
学 校 教 育 課 長	金 築 健 志
児 童 生 徒 支 援 課 長	兒 玉 浩 二
教 育 施 設 課 長	園 山 裕 二
学 校 給 食 課 長	金 森 真 治
出 雲 科 学 館 長	矢 田 浩 一
学 校 教 育 課 主 査	山 崎 創
児童生徒支援課課長補佐	渡 部 俊 樹
河南中学校栄養教諭	江 角 香 織

3 会議の書記

教 育 政 策 課 課 長 補 佐	常 松 晃 好
-------------------	---------

4 傍聴者

0人

開会

(槇野教育長) 只今から、令和元年9月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議は、お手元に配付しております日程のとおり行います。

1 教育長行政報告

(槇野教育長) それでは、教育長行政報告を行います。(以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

R1.9.1	市防災訓練
R1.9.2	市議会初日 ～9.27
R1.9.4	市議会一般質問 ～9.9
R1.9.12	市議会文教厚生常任委員会・予算特別委員会分科会
R1.9.20	出雲中央ライオンズクラブポケットーク寄贈式
R1.9.20	レストラン&マルシェ
R1.9.17	市議会決算特別委員会 ～9.20
R1.9.24	秋の交通安全運動出発式
R1.9.24	山陰防災電機株式会社タブレット寄贈式
R1.9.24	定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

R1.9.27	市議会最終日
R1.10.1	学校訪問 ～10.16
R1.10.4	ポイ捨て一掃大作戦
R1.10.8	校区検討委員会
R1.10.9	地域学校運営理事会理事研修会
R1.10.11	管内教育長会研修会、県学力育成会議
R1.10.14	出雲大学駅伝
R1.10.16	保幼小交流の日
R1.10.17	中国地区都市教育長会総会・研究協議会 ～10.18
R1.10.19	同和教育研究指定事業発表会(久木地区)
R1.10.21	定例教育委員の会議

(槇野教育長) 只今の報告で、質問等がありますか。

(各教育委員) ありません。

2 会議録の承認

（槇野教育長） 次に、会議録の承認に入ります。前回 8 月定例会の会議録について、何か意見等がありますでしょうか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 特に意見等ありませんので、8 月定例会の会議録については承認します。

3 議事

（槇野教育長） それでは、議事にはいります。最初に「議第 27 号 出雲市立学校校区検討委員会委員の委嘱について」を、教育部 建部次長 に説明願います。

（建部次長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の、議第 27 号について、何か質疑等はありませんか。

（錦田委員） 名簿 8 番、9 番の「選択校区利用保護者」さんは、今市小学校、四絡小学校それぞれの保護者さんですか。

（建部次長） 「選択校区利用保護者」ですので、2 名とも今市小学校保護者です。

（錦田委員） 四絡地区に居住し、今市小学校へ通学している児童の保護者ですね。わかりました。

（小豆澤委員） 校長先生も委員に入っているところですが、一般の保護者のみなさんや P T A の役員の方々は、こういった話し合いが行われるということを知る機会があったんでしょうか。実際、聞いてみると誰も知らないんですよ。

（建部次長） 昨年度のところで、P T A の役員さんには、ご意見を聞いています。それから、制度利用保護者のみなさんについては、意見交換会をやるということでご案内をしたところです。

（小豆澤委員） 体育館の問題では、新聞報道において情報発信が不足していた等いろいろな「言い訳」のようなコメントが並ぶ中で、この問題についても「四絡地区からそんな意見が出ているのか」といったことを今市小学校の保護者さんから聞きますので、学校の子どもたちに変な影響があってもいけませんが、一部の人たちが決めているといった流れになっても困るなという気がいたします。

（槇野教育長） 伝え方をどうするかという問題はあると思いますが、少なくとも四絡小学校と今市小学校の保護者の方には、検討委員会設置のこととその内容についてお知らせした

方がよいという気はしますね。情報が広く伝わっていないと思いますし、地区全体なのか保護者なのか、いろいろ考えられますが、知らないところで検討があつて、こういう結論が出て、というのもどうかと思います。ちょっと内部で検討して、できるだけオープンなかたちでやっていきたいと思います。

（槇野教育長） ほかはいかがでしょうか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 特に質疑等がないようですので、議第 27 号について、承認してよろしいですか。

（各教育委員） 異議なし。

（槇野教育長） ご異議ありませんので、議第 27 号を承認します。

（槇野教育長） 次に、「議第 28 号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の任命について」を、同じく教育部 建部次長 に説明願います。

（建部次長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の、議第 28 号について、何か質疑等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 特に質疑等がないようですので、議第 28 号について、承認してよろしいですか。

（各教育委員） 異議なし。

（槇野教育長） ご異議ありませんので、議第 28 号を承認します。

（槇野教育長） 次に、「議第 29 号 出雲市教育委員会感謝状贈呈者の決定について」を、同じく教育部 建部次長 に説明願います。

（建部次長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の、議第 29 号について、何か質疑等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 特に質疑等がないようですので、議第 29 号について、承認してよろしいですか。

（各教育委員） 異議なし。

（槇野教育長） ご異議ありませんので、議第 29 号を承認します。

（槇野教育長） 次に、「議第 30 号 出雲市教育委員会感謝状贈呈者の決定について」を、建部次長に説明願います。

（建部次長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の、議第 30 号について、何か質疑等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 特に質疑等がないようですので、議第 30 号について、承認してよろしいですか。

（各教育委員） 異議なし。

（槇野教育長） ご異議ありませんので、議第 30 号を承認します。

（槇野教育長） 次に、「議第 31 号 出雲市文化財保護審議会委員の任命について」を、市民文化部 木村次長 に説明願います。

（木村次長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の、議第 31 号について、何か質疑等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 特に質疑等がないようですので、議第 31 号について、承認してよろしいですか。

（各教育委員） 異議なし。

（槇野教育長） ご異議ありませんので、議第 31 号を承認します。

4 報告

（槇野教育長） 次に、報告事項に入ります。報告（１）「生徒が校外学習中蜂に刺された事案について」を、児童生徒支援課 児玉課長 に説明願います。

（児玉課長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の報告（１）について、何か質問等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 次に、報告（２）「平成３０年度（2018）出雲市学校給食会物資会計決算について」を、学校給食課 金森課長 に説明願います。

（金森課長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の報告（２）について、何か質問等はありませんか。

（小豆澤委員） 児童生徒から集められる「給食費」は、全て食材費に充てられるということでしょうか。

（金森課長） そうです。１００パーセント食材購入費ということでございます。

（小豆澤委員） 実際調理にかかる費用というのはどれくらいですか。

（金森課長） 本物資会計で約９億円ですけども、これに職員の人件費ですとか、光熱水費を加えますと、１６億円から１７億円くらいになります。

（小豆澤委員） 仮にそういったものも「給食費」で負担するとなると、倍くらいの負担がかかってくるということですね。

（金森課長） そうですね。今現在、食材購入費以外はすべて市会計で負担しているということでございます。

（槇野教育長） ほかはいかがでしょうか。

（各教育委員） ありません。

5 協議

（槇野教育長） 次に、協議事項に入ります。今回の定例会では、金築委員から協議テーマをいただきました。「協議（１）教育委員発案テーマによる意見交換「食育について」、先ず始めに、金築委員から、ご提案内容の説明をお願いします。

（金築委員） 前回の学力調査の件でも話をしましたが、朝ごはんをきちんと食べていないのではないかとということがあって、出雲市の現状を知りたいということもありましたし、「食育」でも「食」に関わることを以外というか、「いただきます」「ごちそうさま」が上手に言えない子どもたち、箸が上手に使えない子どもたち、あぐらをかいて食べる子どもたち、肘をついて食べる子供たち等、非常に多くなっていることなどが気になっているところでして、そうした部分が様々なことにつながっていると思いますので、出雲市が今までそうしたことに対してどういった取組をされてきたのか、また、今後どういうふうに取り組まれるのか、保護者の問題もありますが、学校として何かできることがあればと思ひまして、協議テーマとさせていただきました。

（槇野教育長） 只今のテーマに関連して、今年度、出雲市教育研究会食育部において取り組まれた調査の結果等につきまして、河南中学校 江角栄養教諭 から説明をお願いします。

（江角栄養教諭） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の、説明に対する質問等も含めまして、意見交換をお願いします。

（金築委員） 調査結果で、朝食を「時々食べない」「食べない」という子どもがいるんですけども、なぜ食べないかという理由は調査されましたか。

（江角栄養教諭） 理由を訊ねてはおりませんけども、夜寝るのが遅くて朝食べる時間がない等、生活リズムが関係しているのではないかとすることがありまして、学校では、朝食も含めて生活習慣に関する取組の中で改善を促しているところです。

（水委員） 「食育」という言葉はすごく幅が広くて、金築委員さんからも話が合ったように、何を食べるか、誰と食べるか、いつ食べるか等、切り取って議論できる題材はいくらでもある中、今回は朝食がテーマですので、朝食を食べることが望ましいという前提でこういう調査をされたと思うんですけども、欲しくなくて食べないのか、食べる時間がないほど起きる時間が遅いのか、あるいは、保護者が用意をしないのか、いずれにしても、早く眠って、朝起きて、準備も含め食事の時間をとって出てくるというところが大事なかとこれを見て思いました。そうすると、食事だけではなくて、生活習慣すべてを見直さなければなりませんし、家庭内でのしっかりとした保護者の考え方のもとにやっていたかなければ、学校での対策では改善は難しいのかなと思ひました。

（小豆澤委員） 以前目にした書籍でも、ご飯を食べた子と食べていない子との学力等

様々な事柄における比較がありまして、私もそれが強く印象に残りましたので、我が子にも「朝ごはんをしっかり食べて学校行けよ」と声をかけるようになったんですけど、この調査結果を受けて、どういうふうに家庭へ啓発しますか。朝ごはんを食べたほうがよいということはみんなが思っている中で、「味噌汁を毎日食べましょう」といったことをお便りにしてどれだけ響くのかなというのも正直疑問なところで、だからといって、味噌汁を食べた子と食べていない子との分析をしていただきたいとも思いませんが、伝えることの難しさを感じながら聞いていました。ただ、中学2年生でこれだけ朝ごはんを食べているというのは、本当でしょうか。

（錦田委員） 私も、小豆澤委員さんと同様に「思ったよりも食べている子が多いな」という印象を覚えたんですね。全国や県等と比較できるデータがありますか。

（江角栄養教諭） 今持ち合わせていません。

（錦田委員） 文科省も以前に「朝食を食べましょう」というアピールをずいぶんしていましたよね。それが学力と相関性があるというような話で、私も関心を持ったんですね。生活習慣というのは家庭が機軸なので、そこまで全部学校が背負う必要は本来違うと思うんですけども、しかし、せざるを得ないとするならば、保護者さんにアピールするときに、朝食をとったり、きちんと生活習慣を身に付けるということがどういう効果があるかということ、ある程度明確に謳っていかなければいけないのかなという気はします。先ほどの作法の話もそうですし、多岐にわたるので、学校で何を中心に食育していくのかということは絞り込んでいったほうがよいのかなと思います。「服育」の話とか姿勢の話とか、県は「ふるまい向上」としてやっていますけども、しかし本来それは家庭の役割が重要であって、こうした問題を扱う際に、アンケートの結果などをもってどう啓発していくかという切り口は鮮明にした方がよいのではないかと思います。

（槇野教育長） 学校では子どもたちに食に関する正しい知識をきちんと学んでもらい、その子達が大きくなっていく中で自分で実践できるようにということが、学校での役割であろうと思うんですけども、子どもがそういう知識を得ても、家庭で習慣化できるくらいの実践がなかったら、やはり習慣として身に付きにくいかなという思いもあります。いろいろな機会を通じて啓発あるいは情報提供というのはやっていかないとはいけませんが、子どもが家に帰って保護者へ伝えたり自ら実践しようという姿勢がみられるとまた一味違った啓発になるかなとも思います。あきらめずにいろんな方法でいろんな機会を通じて繰り返しやっていくしかないかなというのが率直なところですね。

ほとんどの家庭や児童生徒は正しく理解して正しく実践できるのではないかと思いますけど、ごく一部の生活環境が整わないところに対してどういうふうな対策を講じるのかということが難しいですね。ケースもばらばら、いろいろな環境の違いもあるでしょうし。

また、「食育」ということで世間はいろいろなことを言われるんですけども、なかなか今の学校教育の中において、少ない栄養教諭だけでは難しいというのが率直な思いで

す。もちろん他の教諭の皆さんも協力しながら学校をあげて食育に取り組んではいますが、それが十分な体制かという点、なっていないと思いますね。教員定数の話なんですけども。ですので、そこらへんについてもきちんと目を向けて手当してほしいという思いがありますし、そこが充実してくると、先ほどの家庭への啓発という点でも力を増してくると思いますし、学校教育だけで担いきれるものでもありませんので、健康増進の部署であったり、福祉の部署であったり、そういったところから家庭への食育ということで取り組んでいく必要もあると思います。

（金築委員） みなさまおっしゃいますとおり、幅が広すぎてどこからということもありますけど、基本的に私が気になっているのは、「ふるまい」とおっしゃったんですけど、先ず挨拶ができないということを私は不思議に思っていて、朝「おはよう」と言っても子どもが反応しないんですよ。「何故」と聞くと、「家でも言わない」と言うんですよ。「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「行って来ます」という流れだと思んですけど、その流れがわりとできていない気がしていて、お家でそういうことをしていないのかなというのが思ったところです。そうすると、食べ物に対する感謝もありませんし、何を食べるかも重要ですけども、先ず食べ物に対して感謝の気持ちを持つてもらうことが一番かなということを常々思っています。

（小豆澤委員） 今の話を聞いて思ったのは、両親が共働きでなかなか家族一緒に食事をするということも難しい中、家族みんなと一緒に座って「いただきます」という時間を持たないといけないんだなということを感じました。ただ、それは前の時代はあったからというのではなくて、私の体験では前の時代でもありませんでした。

（金築委員） いろいろな環境はあると思いますが、それでも食べ物を大事にするという気持ちが根底にないといけないのかなという思いは常にあります。

（錦田委員） 学校現場のことでお聞きしたいことがありまして、「早寝早起き朝ごはん」というキャッチフレーズのもとに、基本的な生活習慣を整えていきましょうというアピールを政府もやっておりました。そうすると、それに反対する意見として、「家庭の教育にまで踏み込むのか」とか「思想信条の自由に抵触のおそれがあるのではないか」という発言をされる方もおられました。実際そういう声って、家庭・保護者から教育現場で上がるものでしょうか。「早寝早起き朝ごはん」は、我々の価値観では当たり前のことでありますが、そういった声があって及び腰になったりするような現状がありはしませんか。

（植田部長） そうした声を聞いたことはありませんし、生活習慣は子どもにとっては大事なことです。

（錦田委員） 安心しました。学校から正々堂々と、「基本的な生活習慣を保つことは、学力にも、人体、人格の形成にも健康増進を含め、おおいに役立つことだ」と真正面か

ら言われてよいのではないかという気はしました。

（槇野教育長） 実際それぞれの学校で生活習慣に関わることでの啓発・取組はやっていますので、家庭学習の手引きの中にそういった項目を入れている学校もありますし、様々な機会を捉えて基本的な生活習慣について、「早寝早起き朝ごはん」も含めて周知しているという学校がほとんどではないかなというふうには思っています。

ちょっと質問ですけど、主食と主菜と副菜をバランスよく食べている子は「ごはん」を食べている割合が高いですね。何か理由があるんでしょうか。

（江角栄養教諭） パン食の場合、パンと飲み物だけとか、菓子パンだけとか、ある程度手軽に済ませてしまえる部分があると思います。ふりかけもありますけど、「ごはん」のほうが、おかずと組み合わせて食べることが多いのではないかと思います。これは推測ですけど。

（槇野教育長） 「ごはん」の方がバリエーションが豊富というか、組み合わせがしやすいということでしょうか。

いろいろと普段感じていることも含め意見が出たかなと思いますが、先ほどおっしゃっていた生活習慣、食育のことも含めてですけども、いろいろと考えてみますと、結構大人になってからでも習慣は変わるのかなという思いも持っていますね。子どもの時に食育で正しい知識を身につけてもらって、なおかつそれが習慣化して実践できるということが一番よいと思いますけど、自分を振り返ってみますと、結婚であつたり、子どもができたり、そういったことでも十分変わっていく可能性があるなど、今日聞きながら思い出していました。難しいテーマですが、これからも機会があれば食育のことをいろいろな機会を捉えて意見交換をしてみたいなというふうに思っているところです。江角先生、今日はありがとうございました。

6 その他

（槇野教育長） それでは次に、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育部 建部次長 に説明をお願いします。

（建部次長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の報告について、質問等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

（各教育委員） ありません。

7 次期教育委員会の開催時期

(榎野教育長) 次期教育委員会の日程ですが、10月21日(月)の、午後2時から、市民応接室で開催いたします。

閉会

(榎野教育長) 以上をもちまして、令和元年9月出雲市教育委員会定例会を閉会します。

(15:30) 定例教育委員会閉会